

『おもしろ大阪歴史さんぽ』当日のご案内（行程表）

- **出発時間 毎回 13:30**（出発の5分前までに集合場所にお越しください）
- 出席を取りますので、到着されましたら スタッフにお声がけください
- 出発時間の20分前からスタッフが集合場所で待機しております
- 現地集合・現地解散、雨天決行 ■ 解散 毎回 16:00頃（多少前後します）
- 歩きやすい服装、靴でお越しください
- **当日の連絡先:090-5166-9487**

※注 7月、8月は休講

2024年 9月26日 (木)	<p>【「人、モノ、富が集まり、文化と人を育む北船場を訪ねる」】</p> <p>■ 集合:大阪メトロ御堂筋線「淀屋橋」駅北改札口（京阪連絡口、①～⑦出口方面）</p> <p>土佐堀川南地区は江戸時代船場と呼ばれ、大店が並び大坂の富が集中した街。今もビジネスの中心地。江戸時代に繁栄した歴史の足跡と、今も街を豊に飾る近代建築を訪ねます。（北浜付近にて解散）</p>
10月24日 (木)	<p>【最古の堀川、東横堀川を見聞し町人と武士を考える】</p> <p>■ 集合:大阪メトロ堺筋線、中央線「堺筋本町」駅東改札口（①、②出口方面）</p> <p>豊臣秀吉の命で造られし市内最古の東横堀川、大坂城と町民のまち船場とを仕切る境目でもありました。今も堀川は淀川の水が流れる水面が残り、パナマ運河？まであります。その歴史の魅力に迫るまち歩きです。（高麗橋付近にて解散）</p>
11月28日 (木)	<p>【今はなき西横堀川跡を訪ね 西船場の賑わいを思う】</p> <p>■ 集合:大阪メトロ四ツ橋線「四ツ橋」駅北改札口（①出口方面）</p> <p>大阪の川は人間が掘った堀川。堀川には橋がかかる。大阪はほぼ町人橋。町人橋はつくった人の想い、歴史があって面白い。水都大坂として川と共に生きてきた大坂は川そのものが歴史遺産といえる。それが埋め立てられ今では橋跡のみに残すのみ。それゆえにそれをつくった人の想い、住んでいた人たちの歴史を巡る。（肥後橋付近にて解散）</p>
12月26日 (木)	<p>【今はなき西長堀川を辿り 町人文化の息吹を感じる】</p> <p>■ 集合:大阪メトロ千日前線、長堀鶴見緑地線「西長堀」駅東改札口（①、④A、④C出口方面）</p> <p>何でもはじめは大坂！！江戸時代は大坂湾、木津川と船場、島之内を繋いで、天下の台所・大坂の一大動脈の運河で江戸から近代までの町人文化が花開いた川筋を巡ります。（西大橋付近にて解散）</p>
2025年 1月23日 (木)	<p>【住吉大社参拝と住吉に残る南朝住吉行宮・一休禅師の足跡を訪ねる】</p> <p>■ 集合:南海高野線「住吉東」駅東改札口（各停しか止まりません）</p> <p>南朝の後村上天皇の御座所（皇宮）で、長慶天皇も即位した住吉行宮や、北朝最後の天皇・後小松天皇の落胤と博される一休宗純禅師の牀菜庵跡、これら住吉のまちに眠る、南朝の足跡と津守氏関連寺院を巡る。（住吉大社付近にて解散）</p>
2月27日 (木)	<p>【道頓堀川に架かる橋を辿りながら浪華の繁栄を観て歩く】</p> <p>■ 集合:大阪メトロ堺筋線、千日前線、近鉄奈良線「日本橋」駅（⑦出口）(国立文楽劇場)</p> <p>太閤秀吉の命令で成安道頓らが開削した道頓堀。道頓堀五座をはじめとする華やかな芝居小屋、それに群がる芝居茶屋や飲食店から今も続く「くだおれ」の食文化。過去から現在、複雑に練り込まれたミナミの中心を川沿いに橋を渡りながら探訪する。（難波付近にて解散）</p>
3月27日 (木)	<p>【京街道、京橋から野田橋を渡り花まみれの大川端を歩く】</p> <p>■ 集合:大阪メトロ谷町線、京阪「天満橋」駅隣接 京阪シティーモール 1階『スターボックス』前</p> <p>豊臣期の遺構を訪ねながら京橋から続く京街道を歩き、野田橋跡からは網島に渡り大長寺をはじめ心中天網島の舞台を辿りながら春の息吹を感じる花の名所を大川端沿いに歩きます。（桜ノ宮付近にて解散）</p>